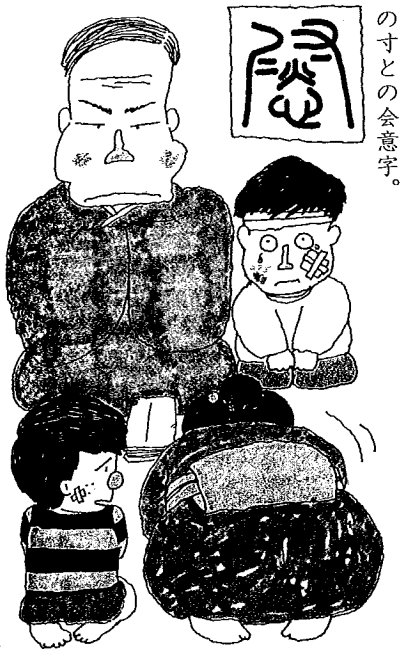
慰

15画

おん イ

なぐさめる・なぐさむ

なりたち 火のしをかける意味の尉と、心との会意形声字。萎縮(いしゅく)した心を伸ばすことを表した字。いたわり〝なぐさめる〟こと。尉は、火のしの形の尸と、火と、手の意味の寸との会意字。

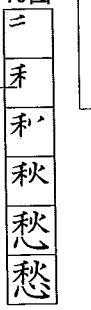


いみとじゅくご
▼なぐさめる。
慰安…慰め楽しませること。例慰安旅行
慰謝…慰め謝り、いたわること。例慰謝料
慰労…苦労を慰めねぎらうこと。例慰労会
慰問…慰めるために訪問すること。
慰留…慰めて、思いとどまらせること。

よみかた 弔慰

愁

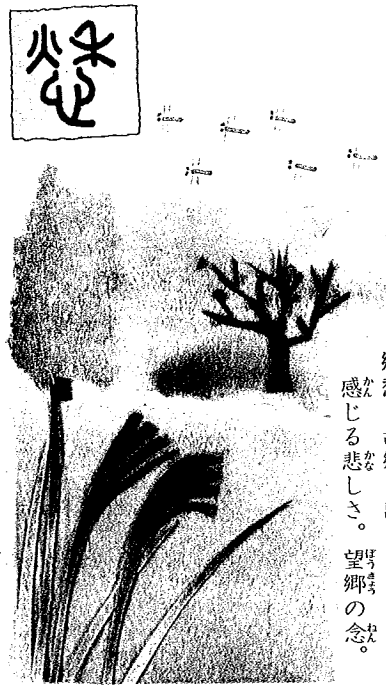
13画



おん シュウ

うれえる・うれい

なりたち 〝秋の心〟という意味の会意形声字。秋は見るにつけ聞くにつけ何となく物悲しくなる季節である。〝ひとりでに悲しくなる〟こと。人に訴え難い〝うれい〟。



いみとじゅくご
▼うれい。うれえる。悲しむ。
哀愁…もの悲しさ。
憂愁…愁い。悲しみ。
悲愁…深い悲しみ。
愁傷…悲しみ傷むこと。用例ご愁傷さまです。(人が死んだ時の悔やみのあいさつ。)
愁嘆…悲しみ嘆くこと。例愁嘆場(芝居で、登場人物が嘆き悲しむ場面。)
愁思…悲しいもの思い。
旅愁…旅で感じるもの悲しさ。
郷愁…故郷を離れている時に感じる悲しさ。望郷の念。

態

【5年】

14画

おん タイ

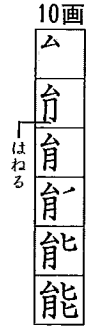
なりたち うまくできるという意味の能と心との会意字。何事も〝うまくできるという心〟は、その人の〝姿〟や〝ふるまい〟に表れる。故に〝姿・ふるまい・様子〟などの意味に用いられる。

いみとじゅくご
▼姿。様子。ふるまい。
態度…表にあらわれた様子・ふるまい。
態勢…何かをする身構え。
状態…ありさま。様子。用例現在の状態を改善する必要がある。
実態…実際のありさま。用例実態を調査する。
形態…姿かたちや、ありさま。用例昆虫の形態を調べる。
姿態…姿かたち。体つき。
生態…❶動物や植物が自然の中で生きるようす。❷生活しているものの、ありのままのすがた。
醜態…みにくいありさま。用例醜態をさらす。
容態…❶病気の様子。❷身なり。様子。
奇態…奇妙な様子。不思議なこと。用例奇態な出来事。

能

【5年】

10画



おん ノウ

なりたち 熊(ま)の形をかたどった象形字で、熊の本字。熊は体が大きく力があるので、大きな力を〝能力(くまの力)〟といった。熊が〝大きな力〟の意味に使われ、熊の字が作られた。〝大きな力・働き・うまくできる〟こと。

いみとじゅくご
▼大きな力。働き。
能力…物事をなしとげる力。
才能…物事をなしとげる頭の働きと能力。
有能…能力があること。反無能
多能…多方面の能力があること。多才。
知能…知的能力。知恵の働き。
機能…物にそなわった働き。
本能…動物に生まれながらにそなわっている能力や行動様式。
▼できる。力がある。
可能…できること。あり得ること。例可能性
能筆…字を書くのが上手なこと。また、その人。
能吏…有能な役人。

よみかた 能書き・能楽・能狂言・能動・能弁・能率・技能・芸能・効能・放射能